

様式6  
施設設計にあたっての考え方に関する提案

① 南三陸町のおかれた地域の状況を考慮した南三陸町病院と南三陸町（仮称）総合ケアセンターの敷地利用計画案と建物計画案

いちばん好きな町に暮らし続けるために “医療・保健・福祉のワンストップステーション”



高台での新しい暮らしを支える配置計画

■利用者であたたかく迎え入れる施設配置

- ・志津川地区土地利用計画における、西地区、中央地区、東地区からの利用者動線に対して開かれた配置計画

■東地区の周辺施設と一体になった配置計画

- ・敷地北側に移転予定の南三陸町役場や郵便局との動線の整合性、土地利用の連続性を考慮
- ・町役場と一体利用出来る町民広場を北西角に設置
- ・周辺計画道路の延伸上に施設の主要動線を計画



■病院と総合ケアセンターを一体的に計画

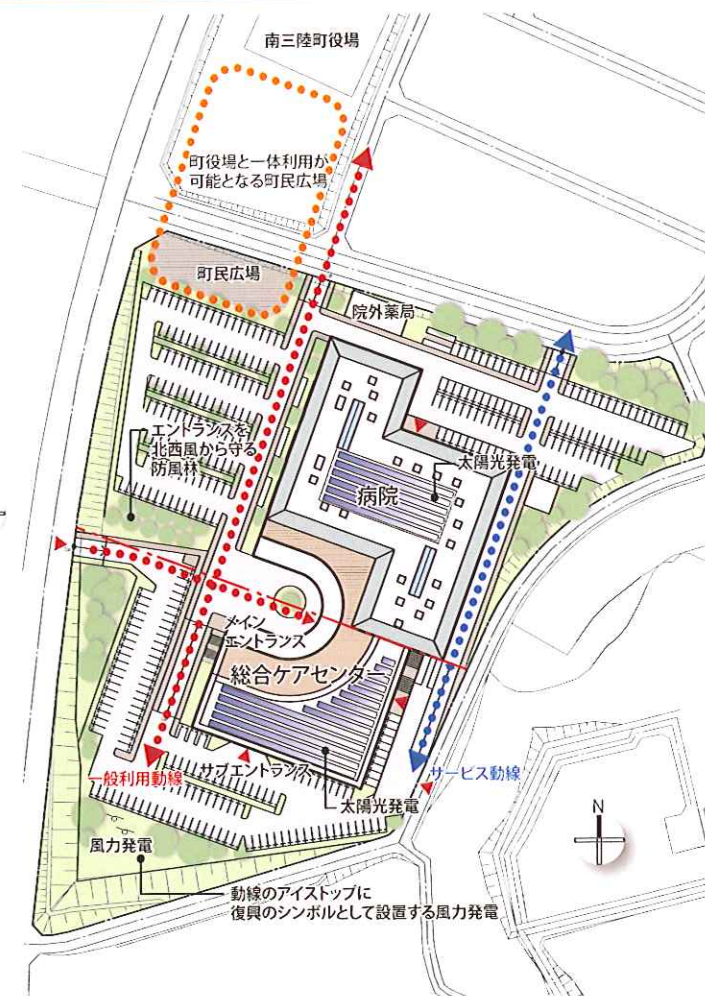
- ・「あそこにいけば大丈夫」、視覚的な一体感により、医療から保健福祉まで安心感のある拠り所の創出
- ・病院と総合ケアセンターの接続部が大きいことで、連携が容易で使いやすく効率的なサービスの提供が可能
- ・一体化により西側の一般利用動線と東側のサービス動線を明快に分離

■病室西日対策と真北へ向かない配慮

- ・南北軸から建物の配置を少し傾けることによる病室の西日対策
- ・将来の施設転換を見越し真北向きの病室をつくらない計画

■造成計画を最大限踏襲した計画

- ・造成計画を最大限踏襲しながら、魅力的な施設づくりと、切土盛土を発生しないことで最短での開院を実現



みんなを受け止めるワンストップステーション

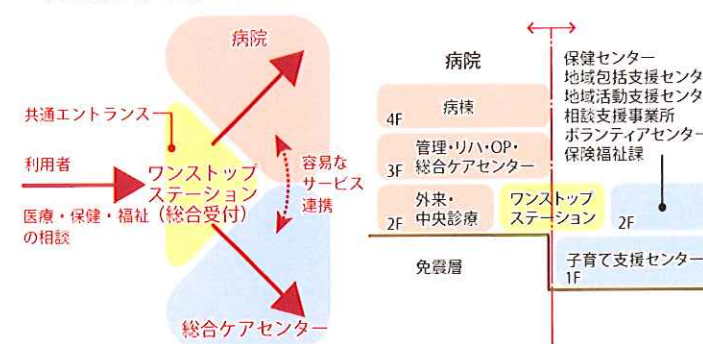


■利用者にとってのわかりやすさの確保

- ・病院・総合ケアセンターの共通エントランスの中央に医療・保健・福祉の相談を全て一括して受け止めるワンストップステーション（総合受付）を設置
- ・各待合や利用者用EV、各ケアセンターの窓口など機能の起点が見渡せる配置

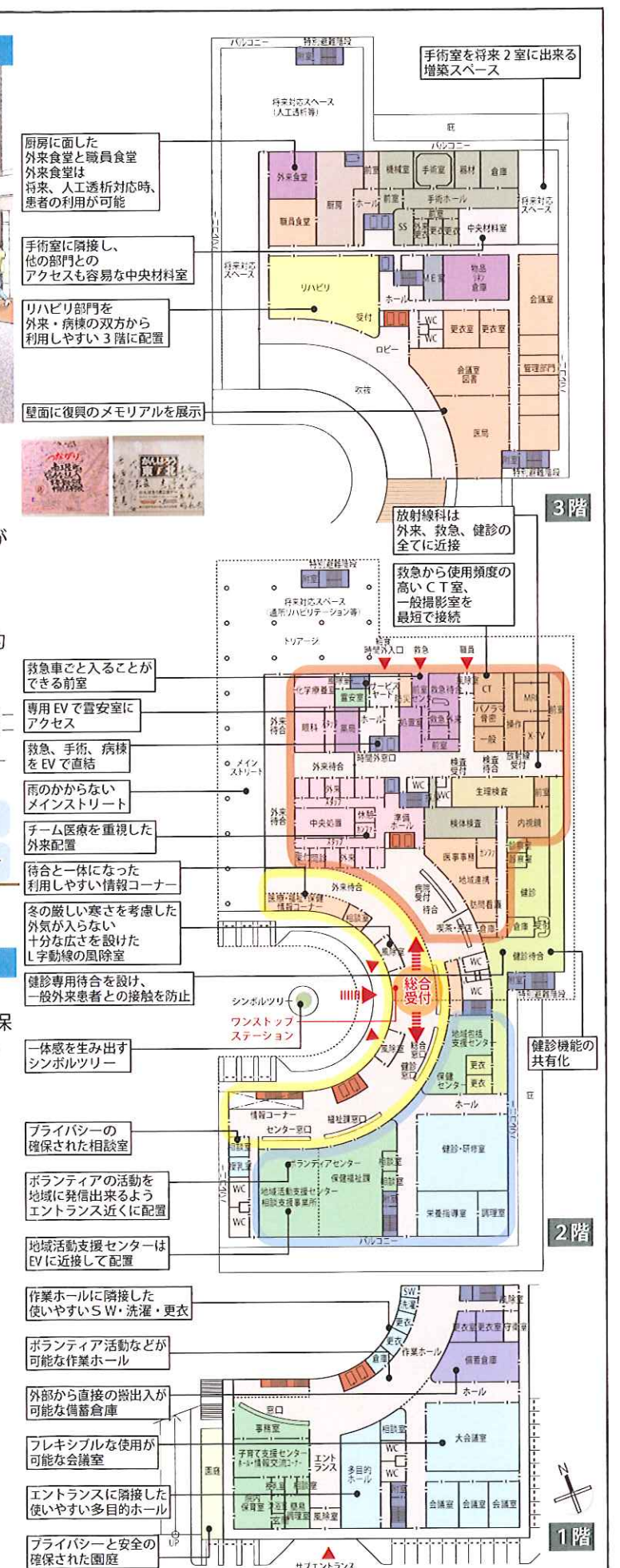
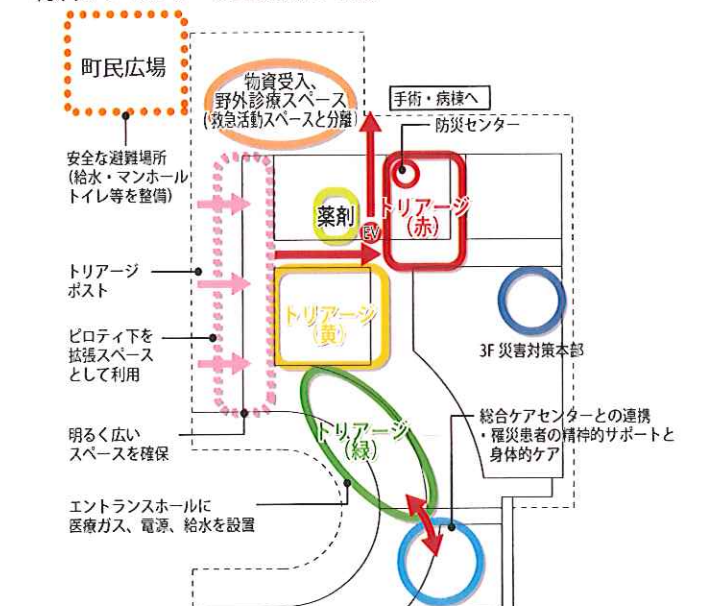
■職員の連携の行いやすさの確保

- ・ワンストップステーション（総合受付）を中央に病院受付、総合窓口、健診窓口、福祉課窓口、センター窓口を両翼に集約



万が一の災害時にも暮らしをつなぐ機能性と拡張性

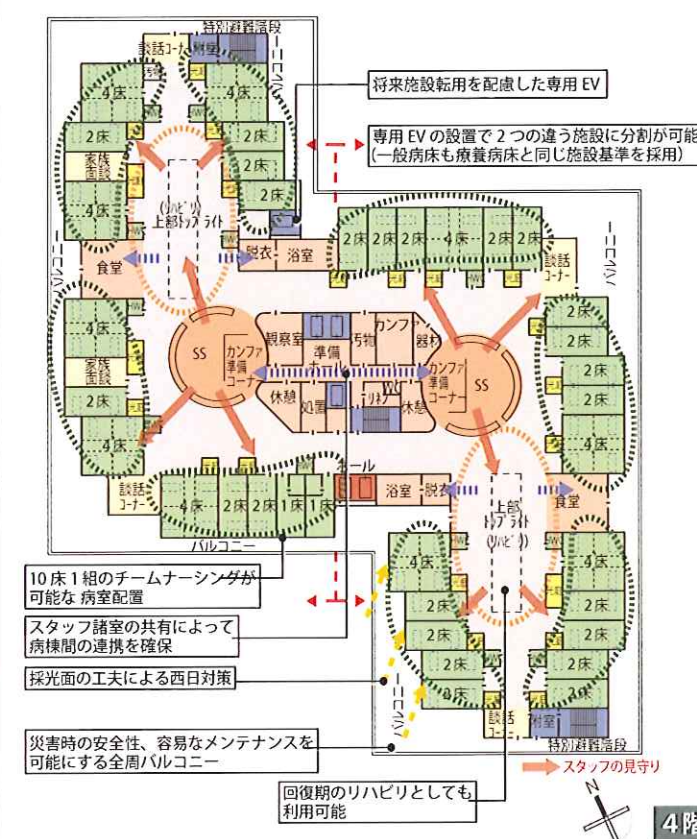
- ・町民広場は安全な避難場所として機能
- ・多数の搬送患者を受け入れる拡張性のあるトリアージスペースの確保
- ・1階ピロティスペースは物資受入や野外診療スペースとして機能
- ・総合ケアセンターとの連携を考慮



様式6  
施設設計にあたっての考え方に関する提案

②西施設の将来における変化への対応策

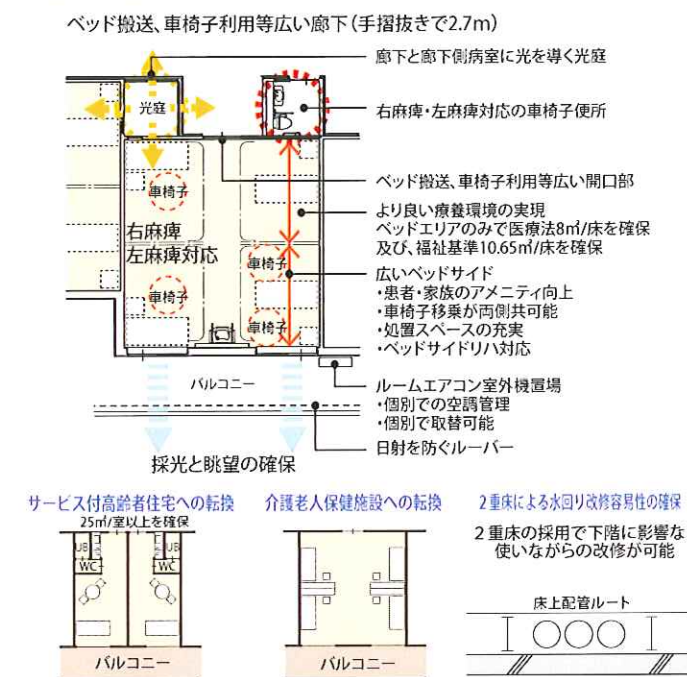
将来の超高齢化への備え



■患者安全を確保する見守りの容易性

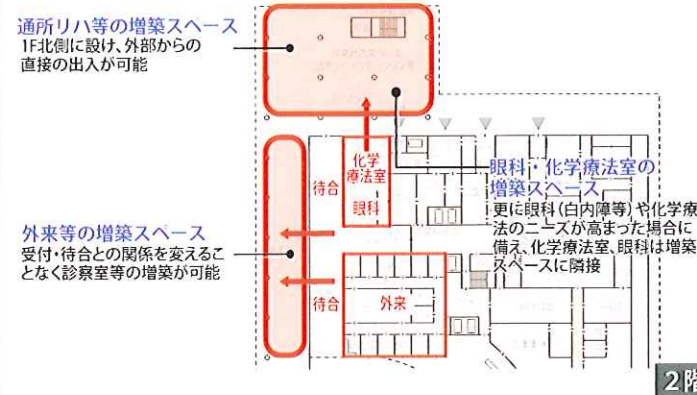
- ・スタッフステーションから全ての病室の見守りが可能な見通し確保
- ・一番時間がかかり、目が離せない食事・入浴エリアを病棟の中心に配置

■高齢者施設への転換も見越した病室の広さ

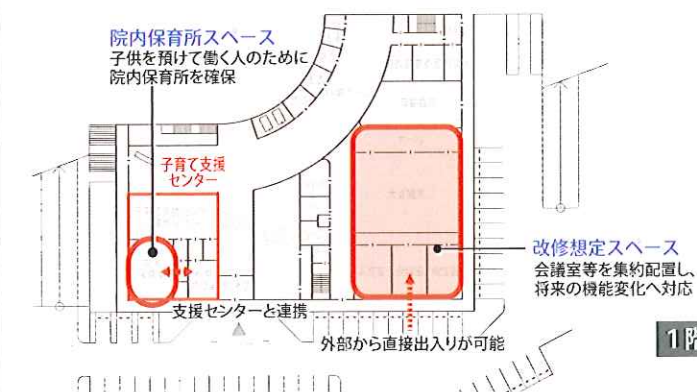


将来の医療機能変化への対応

■病院の運用を継続、免震構造内で増築可能なスペースを確保



働き、暮らし続けることができる「持ちつ持たれつ」の絆の拠点の創出



■フレキシブルに対応できる改修想定スペースの確保

- ・南側・東側から直接出入りが可能な改修想定スペースを確保
- ・フレキシブルな使用が可能な大スパン架構
- ・乾式間仕切り・2重床の採用によるフレキシブル性を確保

■町民が安心して働くことができる機能想定

- 子供を預けて働く人のための院内保育所
- 高齢者を預けて働く人のためのデイサービス
- 訪問介護・居宅介護支援事業所

■子育て支援センター内に院内保育所スペースを確保

- ・子育て支援センター内に院内保育所を確保
- ・支援センター内の他の機能との連携を確保

③その他、本フロアで特に提案したい事項

早期開院を実現する設計体制と進め方

■COMによる確実な事業推進

早期着工と高い品質を実現するため、医療施設経験者によりチームを構成。意匠担当主任技術者とは別にコミュニケーションマネージャー (COM) を置き、事業進捗のコントロールを専門的にを行います。

■地域密着の体制づくり

弊社の仙台事務所を拠点としながら、古くから宮城に密着した地元組織事務所と連携し、即時即対応の実現と、気候・風土を把握した、地域に沿った設計を行います。

■統合設計ワーキング トータルな情報を共有

病院とのヒアリングに設計者だけでなく、家具備品や医療機器の調達、情報システム、業務運営の担当者が参加し、各分野の情報がトータルに議論されるワーキングを開催します。

■工期短縮と高い品質性の両立

- ・労務・資材不足の現状を考慮し、PCa・PC工法採用により現場打設コンクリート量を縮小
- ・外壁にPC板の採用を検討
- ・デッキ型枠の採用、支保工レス状態による仕上工事への早期着手

■デジタルモックアップ

3次元によるコミュニケーションで、イメージ共有・早期の意思決定を促進。色彩のパターンなどイメージアップを効果的に、費用を抑えて可能。



合理的なコスト投資と高品質病院の実現

■メリハリを持ったコスト投資

病院の部門ごとにその機能や特性を十分に踏まえ、コストを投資する部位やプロセスを設定し、メリハリのあるコスト投資を図ります。

| 部門等    | イニシャルコスト | 内容                                                              |
|--------|----------|-----------------------------------------------------------------|
| 病 院    | 投資       | 普遍的な部門を免震構造とし、躯体費用にコスト投資                                        |
| 病 棟    | 抑制       | 大スパンの耐震構造とし、改修・建替えなどの将来変化にコスト投資                                 |
| 外 来    | 投資       | メンテナンスしにくい病室床材をノーワックス床材とし、清掃費軽減                                 |
| リハビリティ | 抑制       | 時間差によって患者数が大きく変わる待合にCO2濃度センサー・インバーターファンによる外気風量の制御を採用しランニングコスト軽減 |
| 厨 房    | 投資       | 間仕切りを減らし大部屋とし、将来レイアウト変更などに対応                                    |
| 管 理    | 抑制       | 床材・壁材など清掃性の良い仕上材を採用し、清掃費の軽減と耐用年数の向上                             |
| 共 用    | 投資       | 内装仕上材を安価なものとし、将来間仕切り変更などの費用投資                                   |
| 設 備    | 抑制       | 吹抜け空間を効果的に配置・自然エネルギーの利用                                         |
|        | 抑制       | 天井仕上をせずに、将来の配管更新時の道連れ工事を軽減                                      |

■掘削土量の削減

掘削土を盛土し、現状地盤から1FLを上げ残土処分量 (搬出土量) の削減。免震層を利用した水槽とし、躯体の負担を軽減。

■ランニングコストの削減

自然の恵みを活かす

- ・高台の利点を活かした太陽光発電・蓄熱システム
- ・日照時間の長さを活かし、太陽熱集熱パネルを設置、給湯と暖房に利用
- ・年間を通じて風が強い立地を活かした風力発電
- ・免震ピットをクール&ウォームピットに利用、地中熱で外気の予熱・予冷
- ・積極的に外気を取り込める通風用の窓、光庭、トップライトを設置
- ・夏期・中間期の夜間自然換気 (ナイトパージ) による日中空調負荷の低減
- ・汚れ難く、清掃がしやすい材料
- ・防汚型外装材の採用、金属部の防錆に配慮
- ・ノーワックス床材の採用、床材立上巾木 (H350) の採用

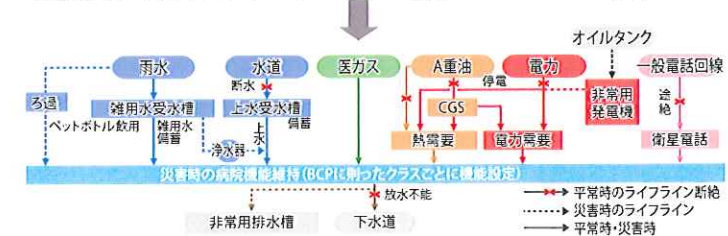
医療機能を停止しないライフライン確保システム

災害時の規模を複数のクラスに設定し、各クラスの稼働想定に合致したライフライン確保システムを構築。

| クラス       | クラス1 | クラス2 | クラス3   |
|-----------|------|------|--------|
| クラス別リスク概要 | 一般停電 | 大地震  | 未曾有の災害 |
| 想定稼働日数    | 3日間  | 1週間  | 3週間    |
| 診療機能      | ○    | △    | △      |
| 医療設備      | ○    | △    | △      |
| 防災設備      | ○    | ○    | ○      |
| 照明設備      | ○    | △    | △      |
| 水         | ○    | △    | △      |
| エレベーター    | ○    | ○    | ○      |
| サーバー      | ○    | ○    | ○      |
| 電話        | ○    | ○    | ○      |

・BCPIによるクラス別設定に沿った設備システムの構築

・機能維持の為にサプライチェーンを理解したシステムの構築



超高齢化社会に向けた配慮

■患者特性を把握した配慮

- ・段差がなく、ゆったりと乗降できる大庇付の車寄
- ・車椅子や電動三輪車が利用しやすい歩道幅確保
- ・目線の高さや文字の大きさに配慮したサイン
- ・立ち上がり易い座面高さの待合椅子

■事故を起こさない、事故を緩和できる配慮

- ・浴室等の床に水捌け良く防滑性能のある材料の採用
- ・伝い歩きが可能で握り易い形状の手摺の採用
- ・床仕上に衝撃吸収性材料の採用
- ・出入りの頻繁な扉に気配を伝える小窓の設置
- ・外部のアプローチには融雪装置を設け、転倒を予防

スタッフが働きがいのある病院づくり

■個の力・チーム医療が発揮できる環境

- ・合同カンファレンスが各所で持てるスタッフルームやカンファレンススペースの確保
- ・院内での研究発表などが開催可能な多目的ホールの設置
- ・図書室にeラーニング可能な自習コーナーの設置
- ・研修室に臨床技能教育や医療機器研修が可能なスキルラボの設置
- スタッフを大事に出来る環境
- ・各部門ごとにスタッフルームの設置、スタッフ専用の休憩室の設置
- ・女性医師の更衣室、パウダールームを確保
- ・育児中のスタッフが安心して復職できる院内保育所の設置

感染防止対策

■手洗・手指消毒を促す設え

- ・部門の出入口には必ず手洗器を配置
- ・お見舞い等の外部者が利用できる手洗器の設置
- ・SSカウンターの端部に手洗器を配置
- ・手指消毒ポンプ・マスク・グローブの保管が可能な壁面収納

■清掃性の良いディテール

- ・床材を立ち上げた巾木
- ・シールレスの一体型ボウルの洗面器の採用
- ・器具下部が清掃しやすい壁掛型衛生器具の採用

